

環境行動計画 -Environmental Action Plan-

「第9期環境行動計画」の2ヵ年（2019～2020年度）において、製品の省資源化・資源循環性の向上および廃棄物発生量の削減など、環境負荷の低減に取り組みました。

活動トピックス（2019～2020年度）

資源循環への取り組み

製品の省資源化・資源循環性の向上

資源の枯渇、価格の高騰、レアメタルの供給不安などのリスクを低減するためには資源を効率よく利用していくことが重要であることから、3R（リデュース・リユース・リサイクル）設計を推進し製品に展開しました。

「第9期」では“資源効率*”の目標にも取り組み、指標の20%以上に対し24%の実績で達成となりました。

*資源効率の算出式：

製品を構成する個々の素材（資源）の「使用・廃棄による環境負荷」を分母とし「製品価値」を分子として算出。



廃棄物発生量の削減と適切な管理

事業所の廃棄物発生量を削減するため、第9期の目標である「2012～2014年度平均の27%以上の削減」に取り組み、達成しました。具体的な施策としては、有価物・廃棄物の細かな分別、廃棄物委員会の開催や分別状況をチェックするためのパトロールなどを実施しました。

廃棄物の適正管理においては、排出事業者の責任として産廃処分業者の現地監査を行い、委託した廃棄物が適正に処理されているか確認しています。



廃棄物・有価物の適切な分別



処分業者の現地監査

ペーパーレスの推進

2017年度から開始した働き方改革の一環として、「オフィスのペーパーレス化」に取り組みました。専門コンサルタントから「紙文書のスリム化」メソッドについてレクチャーを受けその手法を全社へ水平展開。2020年度には、紙文書を削減するとともに電子化を進めた結果目標として設定した「社内文書を70%以上削減」を達成することができました。

生物多様性保全

森林づくり活動（株富士通フロンテックシステムズ）

群馬県および前橋市と「森林整備等の活動に関する協定書」を締結し、2008年度から継続して、森林づくり活動を赤城山麓の嶺公園で年2回実施しています。



手鎌による草刈り

その他

緑のカーテン

本社・東京工場では2009年、新潟工場では2008年から、食堂棟窓側エリアにおいて、つる性植物（パッションフルーツ、アサガオなど）の植栽による「緑のカーテン」に取り組んでいます。

日除けによる遮熱効果がある他、昼食時の癒しと果実の収穫を楽しむことができます。



緑のカーテン（本社・東京工場）